

職場体験レポート

作成者

八幡浜市立真穴中学校

2年 氏名：二宮 秀太



職場の紹介

JA 西宇和（松浦農園）

住所：八幡浜市真網代

特色：「真穴みかん」をはじめ、数種類の柑橘類を栽培



こんな職場です！



真穴地区の中でも大規模な農園で、現在、愛媛県が力を入れて生産販売している品種の栽培も行っています。

「真穴みかんは日本一！！」



職場で体験したこと



僕はみかんジュースのラベル貼り、タイバックシートの準備、農園の草引き、コンテナの用意、吉田町でのみかん研修などを行いました。その中で僕が特に心に残ったのはみかんジュースのラベル貼りで、これは初めて行った作業でした。みかんジュースの入った容器にラベルを貼っていくという、仕事としては単純な作業でしたが、丁寧に貼らなければならないのでとても大変でした。この作業を長い時間行いました。初めはうまく貼れなかったけれど、何個も貼っていくうちに慣れ、丁寧に素早く貼ることができるようになりました。この時、僕は、「長時間集中して作業を行うことの大変さと大切さ」を学びました。集中して作業をしないと、仕上がりが雑になってしまったり、ミスを

してしまったりということが多くなってしまいます。だから「長時間集中して作業を行う」ことはとても大変だけど、大切なことだということを変えて感じました。また、タイバックシートの準備も、友達とも協力して、最後まで集中してやりきることができました。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

うまくできたことは、みかんジュースのラベル貼りで、初めはうまくできなかったけれど、何度も行っていくうちに次第にできるようになりました。そして、うまくジュースのラベルが貼れるようになると、とてもうれしかったです。

大変だったこと、失敗したこと

大変だったことはタイバックシートの準備です。タイバックシートの準備は、何人かで作業をするので呼吸を合わせて行うのが初めは難しくて大変でした。しかし、これも慣れてくるとだんだんとできるようになっていき、とても楽しかったです。

感想

働く人の姿から学んだこと

働く人から学んだことは、まずは一生懸命仕事をする大切さです。また、みかん作りは自然を相手にする仕事が多く、苦労も多いと思いますが、おいしいみかんを作るために、心を込めて育てているということを知ることができました。

全体を通して学んだこと

一つ一つの作業に集中して働くことの大切さを学びました。また、季節によって作業内容が変わり、天候に大きく影響されるみかん作りの大変さが分かりました。今の「真穴みかん」は農家の人たちの努力や工夫があっでできているということを学びました。